

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月26日

事業所名 放課後リリークラブ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20%	0%	コロナウイルス感染対策として1部屋5人以下を指標としている	
	2	職員の配置数は適切である	0%	100%	0%		送迎対応などでバラツキがある児童の分かれ方がどうしても偏りがでてしまう
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	0%	100%	階段の昇降がある為、職員が下に待機し安全確認を行っている	建物の構造上不可能な部分は配慮して補っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	0%	100%	0%	定期的ミーティングを実施している社員のみで実施の場合はパートさんに共有している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	80%	20%	0%	保護者の言葉を常に共有している提供記録や支援活動報告書での保護者の声を反映している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%	毎年ホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	40%	40%	20%		定期的に第三者からの外部評価を行い、改善を行っていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	60%	20%	20%	定期的開催 また、いつでも分からないことは聞ける環境にある	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	定期的に聞き取りを行っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	40%	60%	0%	施設でのアセスメントツールを使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	80%	20%	0%	分担して活動内容案を作成している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	80%	20%	0%	児童からの感想を取り入れる事や季節に合わせた活動を取り入れている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	60%	40%	0%	休日、祝日用の活動を実施	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	60%	40%	0%	職員間で話し合いを行った上で作成	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	0%	20%	毎日の申し送り時に確認を実施	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0%	60%	40%	勤務体系により直接の打ち合わせが難しい場合もある為、連絡ノートやLINEでの共有を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80%	20%	0%	日々の記録は行っている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	80%	20%	0%	定期的なモニタリングを実施している		
関係機	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	40%	60%	0%	活動の内容によって工夫し組み合わせている	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	60%	40%	0%	担当者会議が開かれる際には出来る限り協力、参画を行っている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	0%	下校時間の確認、待ち合わせ場所の共有、付き添いの有無などの確認を実施している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	80%	20%	現在利用者はいないが、利用開始時には主治医や医院の確認を行い対応出来るよう取り組んでいる	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	80%	20%		保育所や幼稚園など一部の情報共有が行われていない為、今後共有できるように話合っていく

関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	40%	40%	20%	情報継続は実施している 今後も継続していく	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	40%	40%	20%	研修等参加出来ない職員もいる が可能な限り受講を続けていく	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	0%	100%		コロナで今年は難しかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	20%	80%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	80%	20%	0%	毎日の送迎時に状況をお知らせしている。面談や電話対応でも実施している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	80%	20%	送迎時に実施している。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	80%	20%	0%	利用開始時に全員へ説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	20%	0%	保護者から相談があった場合には面談等で対応を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	20%	80%		今年はコロナで保護者同士の連携は行えていない。 今後落ち着き次第行っていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	80%	20%	0%	メール、LINE、電話で受付を行い苦情等があった場合にはすぐに担当者に報告を行い迅速に対応出来るようにしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	20%	0%	毎月の活動スケジュールや課外活動の詳細をLINEにて伝えている また、後日ブログにて様子を伝えている	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	個人情報の管理、 書庫の施錠を徹底している	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	80%	20%	0%	職員が中継に入る、筆談等の方法を用いて配慮を行っている	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	60%	40%	以前は行事参加を行っていたが、 コロナ渦の為現在は中止している		
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0%	100%	0%		マニュアルは作成しているが、保護者、職員への共有・周知の部分で課題が残っている。今後は全員に周知できるように改善を行っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	半年毎に消防署に協力いただき、 消防避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	40%	60%	0%	研修を実施している。 定期的に努めていく	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0%	80%	20%	そもそも身体拘束が必要な児童がいない為行っていない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	60%	40%	0%	保護者からの情報提供を受けて対応を行っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	60%	20%	20%	全職員が共有できるよう作成 今後も継続して作成していく	